

# 第7回 社会科小テスト 解説

問1. 一つの国だけがある、面積が世界最小の大陸名を答えなさい。

解答：オーストラリア大陸

解説：オーストラリア大陸よりも小さい陸地は『島』となります。日本は北海道・本州・四国・九州という島々が列状に並んでいるので、『日本列島』といいます。

問2. 四季の変化がある温暖な気候帯を答えなさい。

解答：温帯

解説：温帯には、西岸海洋性気候や地中海性気候、日本の大部分が属する温暖湿潤気候が存在します。

問3. 地中海沿岸で行われるオリーブやぶどうなどの生産が盛んな農業を答えなさい。

解答：地中海式農業

解説：夏に乾燥するという地中海性気候の特色を利用して行う農業です。乾燥に強いオリーブなどがつくられるので、地中海式農業が行われているスペインでは、オリーブオイルを使ったパエリアなどの料理が有名です。

問4. サンフランシスコの南にあり、ICなどを生産する電子工業が発達している地域を答えなさい。

解答：シリコンバレー

解説：アメリカは自動車産業で遅れをとりはじめると、サンベルトとよばれる地域で先端技術産業に力を注ぎました。特にサンベルトの中のシリコンバレーとよばれる地域には、先端技術産業にかかわる大学・企業・研究所が集中しています。シリコンバレーに本拠地を置く企業には、ヤフー・グーグル・フェイスブック・アップルなどがあります。

問5. 日本海を流れる暖流を答えなさい。

解答：対馬海流

解説：まわりの海水より水温が高い海流を暖流といいます。日本周辺の暖流としては、日本の南から北上してくる対馬海流と黒潮（日本海流）があります。

問6. 三陸海岸などで見られる、のこぎりの刃のように出入りの多い複雑な海岸地形を答えなさい。

解答：リアス海岸

解説：『海岸』とは海と陸地の境目のことをいいます。日本は四方を海に囲まれているので、リアス海岸・砂浜海岸・埋め立てなどによる人工海岸など様々な海岸があります。

問7. 川が海や湖に出るところに土砂が堆積してできる、低くて平らな地形を答えなさい。

解答：三角州

解説：川は三角州や扇状地など様々な地形を作り出します。三角州と扇状地は似ていますが、『海や湖に出るところ』にできるのが三角州、『山地から平野に出るところ』にできるのが扇状地となります。

問8. 古代インドにおいて、仏教を開いた人物を答えなさい。

解答：釈迦

解説：釈迦は、北インドのシャカ族の王子ですが、身分制度に苦しむ人々をみて、国を出て様々な修行を重ねたといわれています。仏教はインドではじまりましたが、現在インドで最も信者が多いのはヒンドゥー教です。

問9. 聖徳太子が定めた決まりで、仏教や儒教の考えを取り入れた役人の心構えを答えなさい。

解答：十七条の憲法

解説：現在の憲法は、国家としての基本方針を定めていますが、十七条の憲法は、現在の憲法と違い、役人としての心構えを定めています。有名な一節に『・・・和（わ）をもって貴（たつと）しとなし・・・』があります。

問10. 戸籍に基づいて、6歳以上のすべての男女に口分田を与えることなどを定めた法を答えなさい。

解答：班田収授法

解説：農民の生活を守るとともに、税を徴収できる対象を明らかにして、税収を確実にするために定められました。

問11. 国ごとに国分寺を、都には東大寺を建てた天皇を答えなさい。

解答：聖武天皇

解説：奈良時代の天皇です。災害や疫病が多発したため、仏教の力で国を守ろうと考え、国分寺や東大寺を建てました。

問 1 2. 平安時代の初めに唐に渡り、高野山に金剛峯寺を立て、真言宗を広めた人物を答えなさい。

解答：空海

解説：最澄とともに唐に留学した後、真言宗を広めました。死後、空海には『弘法大師（こうぼうだいし）』の名がおくられました。空海は、字が上手なことでも有名で、『弘法にも筆の誤り』ということわざにもなっています。

問 1 3. 室町幕府で将軍を補佐する役職を答えなさい。

解答：管領

解説：足利氏一族の有力大名である、細川・斯波（しば）・畠山が交代で任命されました。鎌倉幕府の執権にあたります。

問 1 4. 日本で 16 世紀ごろ行われたポルトガル人やスペイン人との貿易を答えなさい。

解答：南蛮貿易

解説：16 世紀ごろ、日本では南方の地を『南蛮』と呼んでいたことから、南方から日本に来たポルトガル人とスペイン人を『南蛮人』と呼んでいました。その『南蛮人』との貿易なので『南蛮貿易』といいます。

問 1 5. 室町時代ごろに見られた農村の自治組織を答えなさい。

解答：惣

解説：鎌倉時代終わりごろから南北朝時代に各地に広がりました。惣とは、戦乱が多くなる中、自分たちの村を戦乱から守るためにつくられた自治組織です。有力な農民から代表者を選び、重要な問題は話し合いの場を開いて決めました。

問 1 6. インド航路を発見したポルトガル人を答えなさい。

解答：バスコ・ダ・ガマ

解説：バスコ・ダ・ガマがインド航路を開拓したことにより、ヨーロッパ人が直接アジアと貿易できるようになりました。なお、ルターは宗教改革を始めた人物、コロンブスは西インド諸島に到達した人物です。また、マゼランは航海の途中で殺害されましたが、マゼランの船隊は世界一周を初めて達成しました。

問 1 7. 松平定信が幕府政治を立て直すために行った改革を答えなさい。

解答：寛政の改革

解説：厳しい改革であったため人々の不満が高まり、わずか 6 年で改革は失敗しました。なお、寛政の改革を行った松平定信は、8 代将軍徳川吉宗の孫です。

問18. 江戸時代の後半に江戸を中心に栄えた町人文化を答えなさい。

解答：化政文化

解説：19世紀はじめ、11代将軍徳川家斉の文化・文政年間に江戸を中心に栄えた町人文化です。

問19. 大老井伊直弼がアメリカと1858年に結んだ不平等条約を答えなさい。

解答：日米修好通商条約

解説：大老井伊直弼が、朝廷の許可を得ないままアメリカと結んだ条約です。領事裁判権を認め、関税自主権がないなど不平等条約でした。ついで、オランダ・ロシア・イギリス・フランスともほぼ同じ内容の不平等条約を結ぶことになります。

問20. イギリスで起こった名誉革命後に出されたものを答えなさい。

解答：権利章典

解説：イギリスで、議会を無視して政治を行っていた国王を追放し、オランダから新しい国王をむかえた名誉革命の後に出された法律です。政治の中心が議会にあることが示されました。